

## 保育計画成果報告書

法人名	株式会社 ベビーチャイルドランド
施設名	ベビーチャイルドランド梶ヶ谷園
報告者（役職）	小森 桃子（園長）
住所・連絡先	川崎市高津区向ヶ丘130
	☎ 044-865-1843
	E-mail nq143150@gmail

○タイトル（保育計画）

僕も私も快適生活 にっこにこ みんなでおままごと 何食べる？

○主な助成備品

テーブル・おままごとセット

### 1. 保育計画策定の目的

室内遊びは、今ある遊具を工夫して飽きがこないように遊んでいましたが、より子供達の室内遊びが充実できるものと考えました。尚且つ、乳児期の他児との関わりが増えるこの時期に、保育者の援助方法、工夫により子ども同士の関わりが広がります。

試行錯誤し日々の保育をしていましたが、より子ども達が自ら自然と関わり遊べる遊具が必要と思いました。職員同士で話し合い温かみのある木材の教材（おままごと・昔ながらの懐かしい円卓テーブル）をお願いしました。



## 2. 具体的な実施内容

まずは、0，1，2歳児の乳児のみで、導入として絵本や手遊びを行った後にお弁当やご飯を作ろうと呼びかけ遊びを実施するようにしました。また、継続的に使用しつつも毎日出すのではなく、特別なものとして週に数回出していくことにより、1回1回の遊びにも集中でき、飽きがこないのではないかと思い遊んできました。また、その後追加として、園でござを購入し、より子ども達の関わりが増えることを期待し玩具の設定にも工夫をしています。



## 3. その成果と評価

今回いただいた玩具に私たちが予想していた以上の結果が得られたように思います。

普段お友達とあんまり関わらず先生と遊んだり、1人遊びが多い子でも円卓があることにより、自然とみんながそこに集まります。四角いテーブルにはない友達との近い距離が生まれ、程よいサイズのテーブルであるが為か、ご飯を作ったり食べさせあったりする様子が見られ、子供たち同士が自ら関わりを持って遊ぶ姿が多く見られました。

また、玩具の種類も十分にあるためトラブルも少なく遊んでいます。給食の際も「このきゅうり、おままごととおなじだね」などと話が広がり食への興味にもつながっています。

さらに、園でござを購入したことで、ござを敷いた上にテーブルを並べ、自分の家に見立てて家族のように遊ぶ姿が見られています。そして、幼児クラスの子供たちも一緒に遊ぶことができ、室内の関わりとして大きな成果を得たと感じています。

#### 4. 今後の課題と展望

今後は玩具を大事に使用し、継続していき、子ども達が飽きてきたときは、設定を工夫したり、おままごとコーナーを作り、いつでも子供たちが選び取り出せるよう検討していきます。



以上